



曾於市長  
竹田 正博

いただき、第6代曾於市長として市政を担当させていただくこととなりました。本市も平成の大合併から20年が経過しましたが、全国的に少子高齢化が進んでおり、今後は生産年齢人口をどう確保するかが課題となっています。

そのような中、曾於市民の皆様が、笑顔で生活できるまちを目指し、第3次曾於市総合振興計画では市の将来像を「豊かな大地と人の絆が未来につながるまち 曾於」として掲げました。

また、日頃から市政に対しまして、深い御理解と御協力を賜つておりましたことに厚く御礼申し上げます。

昨年8月の記録的豪雨により、当市においても道路や住宅への浸水による災害が発生しました。被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧に向けて全力で取り組んでまいります。

私は、昨年7月の曾於市長選挙において、多くの市民の皆様をはじめ、各方面から力強い御支援を

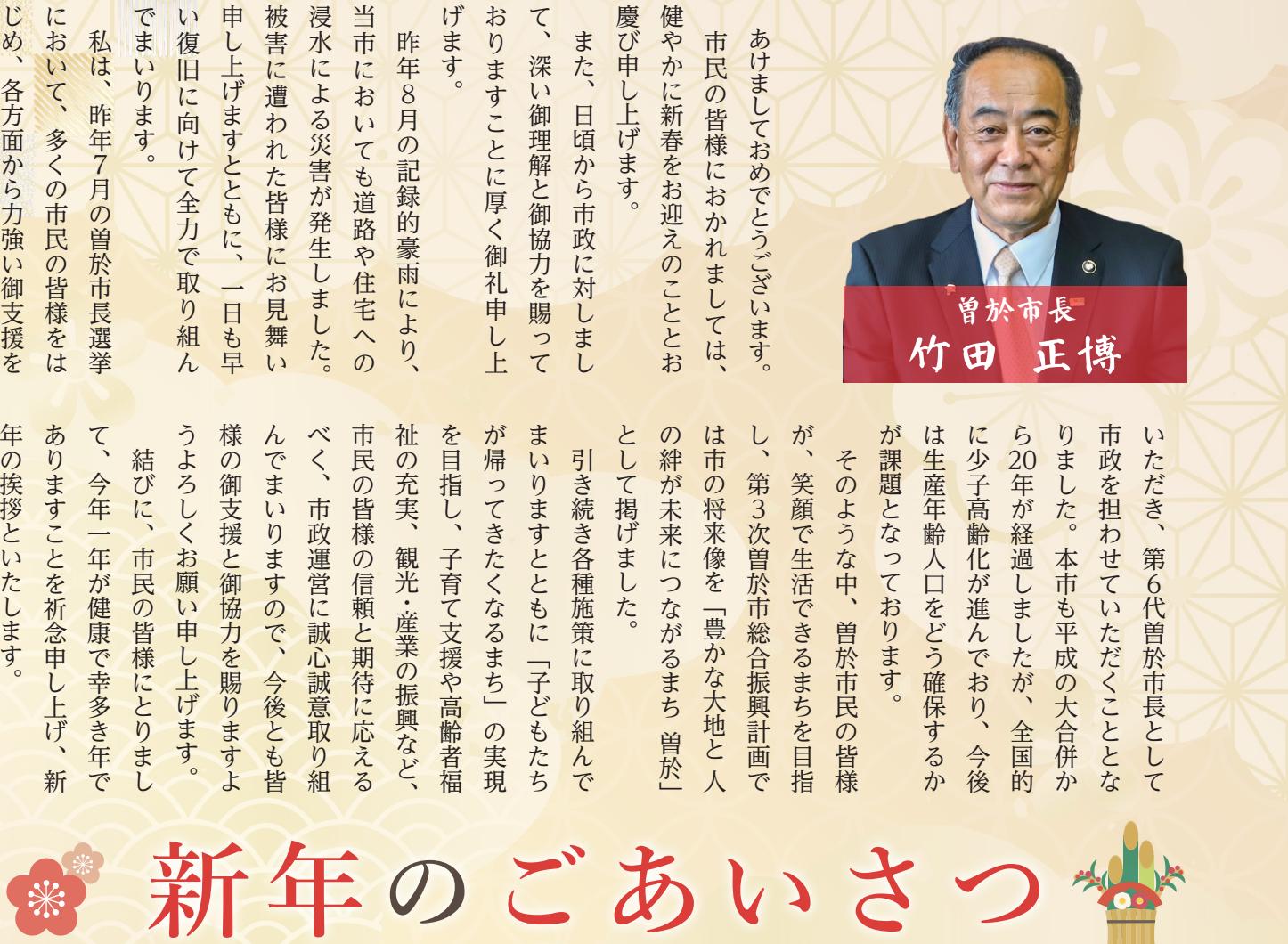
あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

引き続き各種施策に取り組んでまいりますとともに「子どもたちが帰つてきくなるまち」の実現を目指し、子育て支援や高齢者福祉の充実、観光・産業の振興など、市民の皆様の信頼と期待に応えるべく、市政運営に誠心誠意取り組んでまいりますので、今後とも皆様の御支援と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

近年、国際情勢の不安定化や物価高騰、地域社会の変容など、私たちを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。社会全体が感染症との長期的な共存を経て、持続可能な地域づくりへと舵を切る中で、地方自治体にはこれまで以上に柔軟かつ的確な対応が求められています。

結びに、市民の皆様にとりまして、令和8年がスタートし、改選により議会構成も新たな体制となりました。新議員の皆様を迎え、心機一転、議会としての責務をより一層果たしていく所存です。より御祈念申し上げ、年頭の挨拶をいたします。



曾於市議会議長  
重久 昌樹

二元代表制の意義を改めて認識し、執行部とは一定の緊張感を保ちながら、是々非々の姿勢でチェック機能の強化に努めてまいります。あわせて、市民の皆様の多様な御意見を丁寧に受け止め、地方分権にふさわしい議会運営、そして開かれた議会の確立と活性化に引き続き取り組んでまいります。

地域におかれましては、コミュニケーションの希薄化への対応として、再編的な要素を取り入れたコミュニティ協議会への移行が進められています。地域社会の持続的な発展は、市民お一人お一人の主体的な関わりによって支えられるものであり、台湾・里港郷との国際交流促進覚書に基づく交流など、地域の未来を切り拓く取組も着実に進んでおります。これらの活動を通じて、曾於市が更に輝きを増し、市民の皆様お一人お一人が誇りを持てるまちづくりが進むことを期待しております。

結びに、午の年が市民の皆様にとりまして、勢いよく駆け抜けるような活力に満ちた一年となりますこと、そして曾於市の限りない発展と飛躍の年となりますよう心より御祈念申し上げ、年頭の挨拶をいたします。